

平成 24 年度

飯田市公営企業会計決算審査意見書

飯 田 市 監 査 委 員



25 飯監第 47 号  
平成 25 年 8 月 8 日

飯田市長 牧野 光朗 様

飯田市監査委員	中 島 善 吉
飯田市監査委員	林 栄 一
飯田市監査委員	中 島 武津雄

平成 24 年度飯田市公営企業会計決算審査意見

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された、平成 24 年度飯田市水道事業会計及び飯田市病院事業会計の決算書、証拠書類及びその他関係書類を審査しましたので、次のとおり意見を付します。

## 目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第2	審査の結果	1
I	水道事業会計	3
	審査意見	4
	決算について	5
1	事業の概況について	5
2	予算の執行状況について	7
3	経営成績について	8
4	財政状態について	10
	資料	11
II	病院事業会計	17
	審査意見	18
	決算について	19
1	事業の概況について	19
2	業務の状況について	20
3	予算の執行状況について	20
4	経営成績について	21
5	財政状態について	23
	資料	24

### (注 記)

- 1 表中の数値については、原則として円単位とした。
- 2 文中の数値については、原則として万円単位とし、単位未満を切り捨て「万円余」と表示した。
- 3 比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入した。なお、四捨五入後の数値が表示単位未満の場合は「0.0」、該当する数値がない場合は「-」と表示した。
- 4 前年度または今年度に数値のないものは「皆増」、「皆減」と表示した。
- 5 構成比の合計は、表中を合計した数値と一致しない場合がある。
- 6 ポイントとは百分率(%)間の単純差引数値である。また、表中は「P」で表す。
- 7 金額の表記については、記載がない限り消費税及び地方消費税を除く金額である。

# 平成 24 年度 飯田市公営企業会計決算審査意見

## 第 1 審査の概要

### 1 審査の対象

- (1) 平成 24 年度飯田市水道事業会計決算
- (2) 平成 24 年度飯田市病院事業会計決算

### 2 審査の期間

平成 25 年 6 月 26 日から平成 25 年 8 月 8 日まで

### 3 審査の手続

この決算審査に当たっては、市長から審査に付された決算書類及び決算附属書類が適法な手続きによって調整され、その事業の経営成績及び財政状態を適正に表示してあるかどうかを検証するため、会計帳簿類、証拠書類との照合及び関係職員から説明を聴取し並びに例月出納検査をも参考に、通常の審査手続きにより実施した。次いで、経済性の発揮、公共の福祉の増進を目的とする公営企業の基本原則に添って、事業の経営が適正かつ効率的に運営されているかどうかの把握に務めた。

## 第 2 審査の結果

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して調製されており、決算諸表の計数は正確であり、かつ経営成績及び財政状態を適正に表示していることを認めた。

各事業会計に対する審査意見、事業の概況、予算の執行状況、経営成績及び財政状態については、以下各会計別に記載したとおりである。



# I 飯田市水道事業会計

## 平成 24 年度飯田市水道事業会計決算 審査意見

ライフラインとして市民生活に不可欠な水道水は、産業活動や都市機能の面においても基礎的なインフラの一つである。

3 地区の簡易水道を統合した初年度の昨年度に比し、給水人口や有収水量が微減し、給水収益も減少した。営業費用においても必要な鉛製給水管対策事業等を進めたこともあり、営業損益については 922 万円余の赤字になっている。

営業外の費用や収益については、簡易水道の統合に伴う減価償却費や企業債利息などの経費に対して、一般会計から 2 億 5,475 万円余の補助金があった。総収益、総費用では、ともに減少し、純利益では 573 万円余を確保した。

経営指標においては、経営資本営業利益率など収益性を評定するための比率が低く出ている。

今後も給水人口や有収水量の減少傾向が続くことが予測され、水道事業関連施設の老朽化が進み、耐震化、効率化などのための更新又は整備が必要となるなど、厳しい経営環境が予想される。特に水道事業の中核ともいえる妙琴浄水場において改修工事が始まろうとしている。

大規模事業に伴う減価償却費や企業債利息等の増加が見込まれる中、将来にわたり安定した経営を行っていくために、適時な料金の見直しの検討、事業の優先度、財源など経営的な検討を進められ、効率的な事業執行と業務体制の合理化などにも改めて配慮されたい。

営業収益の 9 割以上を占める水道料金において、調定額に対する収入額の比率（収納率）は高水準にはあるが、徴収業務の民間委託やコンビニ収納などを活かし、納期内収納及び収納率の更なる向上に向けて、より一層努められたい。

飯田市水道ビジョン（長期整備計画）の見直しに着手する予定であるが、水道事業の堅実で健全な運営が求められていることに変わりないものと思われる。企業意識を持って経費の節減と経営の効率化に努めると同時に、安全でおいしい水道水の安定供給に向けて、危機管理面も含め安全安心な運営に努められ、水源の確保や地震等の災害に強い施設や設備の整備などに、できるだけ早い段階で計画的かつ積極的に取り組まれたい。

また、平成 26 年度までに新しい地方公営企業会計基準への移行を求められていることから、適切に対応されたい。

# 平成 24 年度飯田市水道事業会計決算について

## 1 事業の概況について

お客様に安全でおいしい水を安定供給することを目的に、飯田市水道ビジョン（長期整備計画平成 19～38 年度の 20 年間）に基づき持続可能な水道を目指し事業を実施している。全国的な人口減少が続く中、給水人口や有収水量等の減少が見られたが、浄水場・配水池等の施設管理業務や料金徴収業務の民間委託によるコスト縮減及び収納率の向上に努めた。

業務状況の内、普及状況は、給水戸数は 105 戸（栓）増加し 42,877 戸（栓）となったが、人口の減少に伴い給水人口が 0.8%の減となり 102,387 人となった。給水区域内の普及率は昨年同様 98.9%となっている。年間総有収水量は 982 万 2,277 m<sup>3</sup>で前年度より 2 万 506 m<sup>3</sup>（0.2%）の減、有収率は 82.6%で前年度より 0.8 ポイント低下した。

経営状況（金額は消費税及び地方消費税を除く）については、総収益 18 億 5,798 万 6,420 円に対して総費用は 18 億 5,225 万 4,068 円で、当年度純利益 573 万 2,352 円を計上し、未処分利益剰余金が 2 億 5,764 万 7,804 円となり、繰越利益剰余金とすることとした。

資本的収支（金額は消費税及び地方消費税を含む）については、収入総額 4 億 2,212 万 1,597 円に対して支出総額は 10 億 5,437 万 5,795 円で、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 6 億 3,225 万 4,198 円は、過年度分損益勘定留保資金 6 億 1,125 万 4,832 円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,099 万 9,366 円で補てんされている。

建設改良事業等主要事業の概況は次のとおりである。

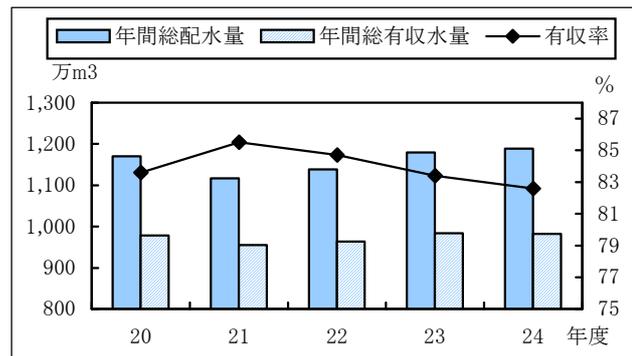
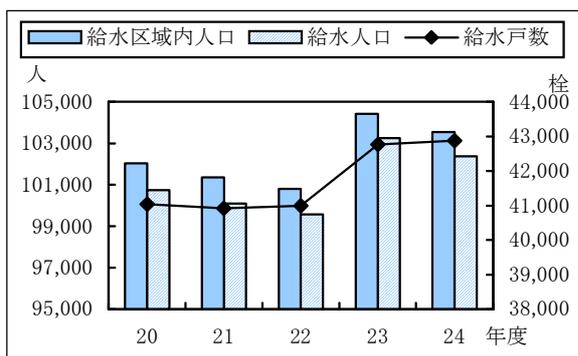
事業名	決算額(円)	主な内容
鉛製給水管対策事業	226,825,575	鉛製給水管布設替戸数 878 戸
上郷第 2 配水池更新事業	22,746,988	用地購入、造成、埋蔵文化財調査
緊急連絡管整備事業	160,765,500	新松川大橋右岸・左岸工事
妙琴浄水場更新事業	81,049,500	取付道路及び敷地造成
老朽管更新事業	70,899,386	老朽配水管布設替（1～3 工区）

### (1) 当年度の業務状況

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	対前年度比較 増 減	対前年度 増減率
給水区域内人口（人）	100,805	104,417	103,538	△879	△0.8%
給 水 人 口（人）	99,575	103,252	102,387	△865	△0.8%
普 及 率（%）	98.8	98.9	98.9	0	0%
給 水 戸 数（栓）	40,999	42,772	42,877	105	0.2%
配 水 能 力（m <sup>3</sup> /日）	45,000	46,735	46,735	0	0%
年間総配水量（m <sup>3</sup> ）	11,387,041	11,794,991	11,888,626	93,635	0.8%
年間総有収水量（m <sup>3</sup> ）	9,642,121	9,842,783	9,822,277	△20,506	△0.2%
有 収 率（%）	84.7	83.4	82.6	△0.8	—
職 員 数（人）	22	24	22	△2	△8.3%

[給水区域内人口等の推移]

[有収率等の推移]



給水人口は10万2,387人で、前年度より865人(0.8%)減少した。年間総配水量は0.8%増加したが、年間総有収水量は0.2%前年度より減少した。職員数は前年度より2名減少した。有収率は82.6%で、前年度より0.8ポイント低下した。

(2) 耐震管路への更新状況

平成24年度末の耐震化の状況は、次のとおりである。

区分	水道本管総延長(m)	耐震管総延長(m)	耐震化率(%)	
上水道区域	22年度末	907,687	48,072	5.3
	23年度末	1,040,624	53,267	5.1
	24年度末	1,041,676	56,915	5.5
簡易水道区域	22年度末	205,916	0	0.0
	23年度末	79,105	0	0.0
	24年度末	79,105	0	0.0
合計	22年度末	1,113,603	48,072	4.3
	23年度末	1,119,729	53,267	4.8
	24年度末	1,120,781	56,915	5.1

(3) 老朽配水管更新事業の状況

法定耐用年数である40年を超えた管路の状況は、次のとおりである。

区分	水道本管総延長(m)	耐用年数超過管延長(m)	耐用年数超過割合(%)	
上水道区域	22年度	907,687	59,001	6.5
	23年度	1,040,624	56,969	5.5
	24年度	1,041,676	60,270	5.8

老朽配水管の更新は、上水道区域のうち旧市内の11,830mを対象に、平成21～25年度事業(国庫補助分)として実施しており、平成24年度末までに9,900.7mを更新し、進捗率は83.7%である。(参考：平成23年度末時点では8,902.0mを更新し、進捗率は75.2%であった)

今後、国から飯田地区広域上水道の事業認可を受けた昭和47年以降の配水管が、法定耐用年数を経過することになり、更なる対応が課題である。

(4) 鉛製給水管等布設替の状況

鉛製給水管は、水道開設の古い旧市内に多く布設されている。布設替については、平成18年度に水質調査や残存調査を行い、平成19年度から本格的な布設替事業に取りかかり、平成28年度末終了予定である。

平成24年度末の進捗状況は、次のとおりである。

鉛製給水管 使用戸数 (水道局推計数) (A)	鉛製給水管布 設替戸数 (B)	左の内訳				進捗率 (B)/(A)	
		鉛製給水管単 独 布設替戸数	老朽管更新に伴 う 布設替戸数	他事業実施に伴 う 布設替戸数	漏水修理等に伴 う 布設替戸数		
19,000戸	10,868戸	6,348戸	1,753戸	998戸	1,769戸	57.2%	
内 訳	18年度	590戸	—	190戸	315戸	85戸	
	19年度	2,130戸	1,180戸	520戸	230戸	200戸	
	20年度	2,310戸	1,600戸	220戸	250戸	240戸	
	21年度	2,100戸	1,690戸	170戸	40戸	200戸	
	22年度	1,150戸	580戸	240戸	40戸	290戸	
	23年度	1,710戸	970戸	380戸	80戸	280戸	
	24年度	878戸	328戸	33戸	43戸	474戸	

## 2 予算の執行状況について

(1) 収益的収支（消費税及び地方消費税を含む。）

当年度の予算執行状況は、次のとおりである。

収益的収入

(単位：円)

科目	予 算		決 算		増減額 (B) - (A)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比		
水道事業収益	1,944,300,000	100.0%	1,937,687,337	100.0%	△6,612,663	99.7%
営業収益	1,685,386,000	86.7%	1,681,498,105	86.8%	△3,887,895	99.8%
営業外収益	258,912,000	13.3%	256,189,232	13.2%	△2,722,768	98.9%
特別利益	2,000	0.0%	0	0.0%	△2,000	0.0%

収益的支出

(単位：円)

科目	予 算		決 算		不用額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比		
水道事業費用	1,890,424,000	100.0%	1,880,443,819	100.0%	9,980,181	99.5%
営業費用	1,649,191,000	87.2%	1,644,741,852	87.5%	4,449,148	99.7%
営業外費用	238,223,000	12.6%	233,792,185	12.4%	4,430,815	98.1%
特別損失	3,010,000	0.2%	1,909,782	0.1%	1,100,218	63.4%

事業収益は予算に対して661万円余の減、事業費用は主に営業費用・営業外費用の減により、予算に対して998万円余の不用額を生じている。

(2) 資本的収支（消費税及び地方消費税を含む。）

当年度の予算執行状況は、次のとおりである。

資本的収入

(単位：円)

科目	予 算		決 算		増減額 (B) - (A)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比		
資本的収入	525,700,000	100.0%	422,121,597	100.0%	△103,578,403	80.3%
企業債	275,000,000	52.3%	200,000,000	47.4%	△75,000,000	72.7%
負担金	29,805,000	5.7%	27,992,556	6.6%	△1,812,444	93.9%
補助金	191,480,000	36.4%	184,851,225	43.8%	△6,628,775	96.5%
補償金	29,400,000	5.6%	9,277,816	2.2%	△20,122,184	31.6%
固定資産売却代金	15,000	0.0%	0	0.0%	△15,000	0.0%

資本的支出

(単位：円)

科目	予 算		決 算		翌年度 繰越額	不用額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比			
資本的支出	1,295,862,000	100.0%	1,054,375,795	100.0%	0	241,486,205	81.4%
建設改良費	800,326,000	61.8%	560,938,086	53.2%	0	239,387,914	70.1%
企業債償還金	475,536,000	36.7%	475,535,209	45.1%	0	791	100.0%
開発費	20,000,000	1.5%	17,902,500	1.7%	0	2,097,500	89.5%

当年度の資本的収入は4億2,212万円余であり、予算に対して1億357万円余の減、資本的支出は10億5,437万円余となり、予算に対して2億4,148万円余の不用額を生じている。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億3,225万円余は、過年度分損益勘定留保資金6億1,125万円余、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,099万円余で補てんされている。

### 3 経営成績について

\* 全国平均 地方公営企業年鑑〔平成 24 年度公表・平成 23 年度事業実績数値〕による、給水人口 10 万人以上 15 万人未満の同規模事業体の平均値。

平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 年間の経営成績の推移は資料（2）〔12 ページ〕のとおりで、平成 24 年度には純利益 573 万円余を計上した。

収益性を評定するための経営比率は、次のとおりである。

比 率	算 式	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	全国平均
経営資本営業利益率(%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$	0.77	△0.14	△0.04	1.11
経営資本回転率(回)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$	0.08	0.07	0.07	0.10
営業収益営業利益率(%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	9.56	△2.19	△0.58	10.75

経営資本=(期首資産+期末資産)/2-建設仮勘定-繰延勘定 営業利益・営業収益:受託工事業費を除く。

事業の収益性を総合的に表示する経営資本営業利益率は、前年度の△0.14%から△0.04%と、0.1ポイント上昇している。

このような経営成績の推移をさらに分析すると次のとおりである。

#### (1) 施設の利用状況について

前年度より施設利用率は 0.7 ポイント、最大稼働率は 0.8 ポイントともに上昇、負荷率は前年度同様である。全国平均と比較すると施設利用率は 6.9 ポイント、負荷率は 1.5 ポイント、最大稼働率は 6.5 ポイント上回っている。これらの指標から当市の施設利用効率は概ね良好といえる。

#### 1 日当配水能力・配水量比較 (単位: m<sup>3</sup>)

	22 年度	23 年度	24 年度
配水能力	45,000	46,735	46,735
平均配水量	31,197	32,227	32,572
最大配水量	36,834	36,529	36,937

#### 利用率比較 (単位: %)

	22 年度	23 年度	24 年度	全国平均
施設利用率	69.3	69.0	69.7	62.8
負荷率	84.7	88.2	88.2	86.7
最大稼働率	81.9	78.2	79.0	72.5

- ・施設利用率=負荷率×最大稼働率×100 1日平均配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので施設の利用状況を総合的に判断する上で重要な指標。数値が大きいほどよい。
- ・負荷率=1日平均配水量/1日最大配水量×100 水道事業は需用のピーク時を想定して施設を建設するため、需用変動が大きいほど施設利用効率は悪くなり負荷率も低くなる。数値が大きいほど効率的である。
- ・最大稼働率=1日最大配水量/配水能力×100 配水量の無駄や能力の余裕を表し、数値が大きい方が効率性も高いが、あまり大きくなりすぎると安定供給という観点から問題となる。

#### (2) 人件費と労働生産性について 資料(2)(3)〔12・13 ページ〕

水道事業における人件費の額と、総費用及び給水収益に対する人件費の割合は次のとおりである。

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	全国平均
人 件 費 (円)	125,744,110	140,153,770	126,782,745	
総費用に対する割合 (%)	7.8	7.4	6.8	
給水収益に対する割合 (%)	8.5	9.2	8.4	12.1

労働生産性を示す指標を全国平均と比較すると、次のとおりである。

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	全国平均
職員一人当たり有収水量 (m <sup>3</sup> )	438,278	410,116	446,467	431,754
職員一人当たり営業収益 (千円)	71,183	66,713	72,481	74,840
職員一人当たり給水人口 (人)	4,526	4,302	4,654	3,876

- ・職員一人当たり営業収益=(営業収益-受託工事収益)÷損益勘定職員数

職員数の減少に伴い昨年度と比較して各指標の値は上昇している。

また、適正な職員の数と配置がされているかの指標のひとつである総務省の水道事業経営指標の有収水量1万m<sup>3</sup>/日当たり職員数を、全国平均と比較すると次のとおりである。

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	全国平均
有収水量 1万m <sup>3</sup> /日 当たり	原浄配水施設関係職員数	5.3	6.0	5.2	4.3
	営業関係職員数	3.0	3.0	3.0	4.2
	損益勘定職員数	8.3	8.9	8.2	8.5

さらに、労働生産性及び労働分配率との関係は次のとおりである。

区 分	算 式	平成22年度	平成23年度	平成24年度
労働生産性 (千円)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	71,183	66,713	72,481
労働分配率 (%)	$\frac{\text{人件費}}{\text{営業収益}} \times 100$	8.0	8.8	8.0

・労働生産性：前頁表中の「職員一人当たり営業収益」と同じ。人員が効率的に活用されているかどうかを合理的に示す指標。1人当たりの金額が大きいほど好ましい。

・労働分配率：生産活動によって得られた付加価値（＝営業収益）を得るのに、どれだけの人件費が支払われたかを示す指標。この数値が大きいと人件費が企業収益を圧迫していることになる。

職員数の減少により、労働生産性は上昇し、労働分配率は低下した。

### (3) 支払利息について 資料(3) [13 ページ]

水道事業における支払利息の額と、総費用及び給水収益に対する支払利息の割合は次のとおりである。

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
支 払 利 息 (円)	163,151,920	216,130,143	204,322,877
総費用に対する割合 (%)	10.1	11.4	11.0
給水収益に対する割合 (%)	11.0	14.2	13.5

総費用及び給水収益に占める支払利息の割合は、平成23年度に3つの簡易水道を統合したことにより上昇した。

### (4) 給水収益における収納率等について

給水収益（水道料金）における収納率等の年度別推移は、次のとおりである。

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
調定額 (円)	1,591,892,504	1,623,776,022	1,621,662,429
収入額 (円)	1,561,534,857	1,591,594,907	1,587,618,550
不納欠損処分額 (円)	706,015	906,876	865,668
未収額 (円)	29,651,632	31,274,239	33,178,211
収納率 (現年度分＋過年度分)	98.1%	98.0%	97.9%
(現年度分)	98.4%	98.3%	98.2%

・この表は、飯田市水道事業会計未収金調書（消費税及び地方消費税を含む）より作成した。

調定額、収入額ともに昨年度より減少している。収納率は昨年度とほぼ同様である。なお、不納欠損処分額246件865,668円は、消滅時効（209件671,562円）、破産によるもの（3件5,863円）、強制執行又は債権申出後の不完全履行（14件133,785円）、徴収停止後一定期間経過（20件54,458円）に該当するとして飯田市債権管理条例の規定により債権放棄したものである。

コンビニエンスストアにおける収納実績（コンビニ収納）

年度	料金収入総額（円） (A)	コンビニ納入額		コンビニ収納割合 (B) / (A)
		件数	金額（円） (B)	
平成 20 年度	3,269,070,961	34,933 件	258,985,748	7.9%
平成 21 年度	3,250,401,025	40,270 件	302,665,794	9.3%
平成 22 年度	3,396,147,293	43,032 件	336,112,113	9.9%
平成 23 年度	3,387,458,799	45,193 件	355,028,906	10.5%
平成 24 年度	3,404,050,818	47,904 件	374,996,811	11.0%

・収納実績には下水道使用料、簡易水道使用料を含む。

平成 18 年 9 月からコンビニ収納を開始しており、料金収入に対する収納割合は年々上昇している。

#### 4 財政状態について

水道事業の平成 22 年度から平成 24 年度の各年度末の財政状態を示すと資料（4）〔14・15 ページ〕である。この表から、各年度末における運転資金及び財務比率を計算すると次のとおりである。

##### (1) 運転資金

(単位:円)

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
流動資産	1,545,415,417	1,598,237,630	1,819,008,535
現金預金	1,405,409,460	1,399,458,921	1,670,152,231
未収金	134,048,744	192,828,176	142,927,281
貯蔵品	2,957,213	2,950,533	2,929,023
前払金	0	0	0
その他流動資産	3,000,000	3,000,000	3,000,000
流動負債	150,766,079	131,711,333	139,376,399
未払金	12,725,720	2,967,200	8,893,200
前受金	772,575	461,858	705,865
下水道料金預り金	120,334,392	119,008,464	120,461,056
その他流動負債	16,933,392	9,273,811	9,316,278
運転資金（流動資産－流動負債）	1,394,649,338	1,466,526,297	1,679,632,136

平成 24 年度末の運転資金は、16 億 7,963 万円余で前年度より 2 億 1,310 万円余増加している。

##### (2) 財務比率

水道事業の財政状態の良否を示す財務比率を算出すると次のとおりである。

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	全国平均
流動比率 (%)	1025.0	1213.4	1305.1	608.24
自己資本構成比率 (%)	65.4	62.8	63.8	71.35
固定資産対長期資本比率 (%)	92.4	93.6	92.8	89.89

- ・流動比率＝流動資産÷流動負債×100 短期（1 年以内）債務に対する支払能力を示す指標で、この比率が 100% を下回っていれば不良債務が発生していることを意味する。
- ・自己資本構成比率＝（自己資本金＋剰余金）÷負債・資本合計×100 資本構成の安定度を見る指標。数値が大きいくほど自己資本が投下されていることを示す。水道事業は施設建設の財源の多くを企業債によって調達しているためこの比率は低くなる。
- ・固定資産対長期資本比率＝固定資産÷（資本金＋剰余金＋固定負債）×100 長期資本に対する固定資産の割合を示す。数値は少なくとも 100% 以下であることが望ましく、100% を超える場合は固定資産に対して過大な投資が行われたものといえる。

流動比率は 91.7 ポイント、自己資本構成比率は 1.0 ポイントともに上昇、固定資産対長期資本比率は 0.8 ポイント減少している。流動比率は全国平均を上回っており、他の比率もほぼ全国平均程度であり、概ね健全な水準を維持しているといえる。

## 資料 (1)

## 業 務 実 績 表

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	計 算 式
給水区域内人口(人) ①	100,805	104,417	103,538	
給水戸数(栓)	40,999	42,772	42,877	
給水人口(人) ②	99,575	103,252	102,387	
普及率(%)	98.8	98.9	98.9	②/①×100
配水能力(m <sup>3</sup> /日) ③	45,000	46,735	46,735	
年間総配水量(m <sup>3</sup> ) ④	11,387,041	11,794,991	11,888,626	
年間総有収水量(m <sup>3</sup> ) ⑤	9,642,121	9,842,783	9,822,277	
一日最大配水量(m <sup>3</sup> ) ⑥	36,834	36,529	36,937	
一日平均配水量(m <sup>3</sup> ) ⑦	31,197	32,227	32,572	④/365日
施設利用率(%)	69.3	69.0	69.7	⑦/③×100
負荷率(%)	84.7	88.2	88.2	⑦/⑥×100
最大稼働率(%)	81.9	78.2	79.0	⑥/③×100
有収率(%)	84.7	83.4	82.6	⑤/④×100
職員数(人)	22	24	22	損益勘定支弁職員 (正規+臨時)
給水原価(円/m <sup>3</sup> )	166.95	191.58	187.66	経常費用-受託工事費 /⑤
供給単価(円/m <sup>3</sup> )	154.27	154.25	154.23	給水収益/⑤
導送配水管延長(m)	907,687	1,040,624	1,041,676	

## 資料(2)

## 比較損益計算書

(単位:円、%)

科 目	平成22年度			平成23年度			平成24年度			
	金額	構成比	前年比 (数値)	金額	構成比	前年比 (数値)	金額	構成比	前年比 (数値)	対前年差引
営業収益	1,570,525,058	100.0	99.8	1,606,191,452	100.0	102.3	1,601,724,788	100.0	99.7	△ 4,466,664
給水収益	1,487,444,078	94.7	100.8	1,518,224,308	94.5	102.1	1,514,856,705	94.6	99.8	△ 3,367,603
受託工事収益	4,491,000	0.3	17.3	5,091,429	0.3	113.4	7,142,000	0.4	140.3	2,050,571
受託金	54,524,763	3.5	99.9	53,119,519	3.3	97.4	52,569,525	3.3	99.0	△ 549,994
その他営業収益	24,065,217	1.5	134.8	29,756,196	1.9	123.6	27,156,558	1.7	91.3	△ 2,599,638
営業費用	1,420,830,317	90.5	94.8	1,641,318,084	102.2	115.5	1,610,949,994	100.6	98.1	△ 30,368,090
原水及び浄水費	265,463,107	16.9	108.1	299,777,862	18.7	112.9	296,243,770	18.5	98.8	△ 3,534,092
配水及び給水費	329,582,287	21.0	87.0	395,140,649	24.6	119.9	352,762,616	22.0	89.3	△ 42,378,033
受託工事費	4,572,000	0.3	16.6	5,110,000	0.3	111.8	7,142,000	0.4	139.8	2,032,000
総係費	161,753,251	10.3	99.8	165,860,169	10.3	102.5	165,011,289	10.3	99.5	△ 848,880
減価償却費	606,649,211	38.6	99.5	742,786,577	46.2	122.4	745,892,442	46.6	100.4	3,105,865
資産減耗費	52,810,461	3.4	69.5	32,642,827	2.1	61.8	43,897,877	2.8	134.5	11,255,050
その他営業費用	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
営業利益	149,694,741	9.5	200.1	△ 35,126,632	△ 2.2	△ 23.5	△ 9,225,206	△ 0.6	26.3	25,901,426
営業外収益	96,881,279	6.2	72.3	287,839,715	17.9	297.1	256,261,632	16.0	89.0	△ 31,578,083
受取利息及び配当金	1,144,933	0.1	44.3	1,237,997	0.1	108.1	813,663	0.1	65.7	△ 424,334
他会計補助金	94,707,653	6.0	73.0	285,386,610	17.8	301.3	254,756,260	15.9	89.3	△ 30,630,350
雑収益	1,028,693	0.1	60.0	1,215,108	0.1	118.1	691,709	0.0	56.9	△ 523,399
営業外費用	193,477,015	12.3	100.8	249,435,006	15.5	128.9	239,394,292	14.9	96.0	△ 10,040,714
支払利息及び企業債取扱諸費	163,151,920	10.4	97.0	216,130,143	13.5	132.5	204,322,877	12.8	94.5	△ 11,807,266
繰延勘定償却費	27,324,895	1.7	141.7	26,949,032	1.7	98.6	29,428,000	1.8	109.2	2,478,968
雑支出	3,000,200	0.2	68.3	6,355,831	0.4	211.8	5,643,415	0.3	88.8	△ 712,416
経常利益	53,099,005	3.4	314.1	3,278,077	0.2	6.2	7,642,134	0.5	233.1	4,364,057
特別利益	0	0.0	皆減	0	0.0	-	0	0.0	-	0
特別損失	837,760	0.0	33.9	1,160,973	0.0	138.6	1,909,782	0.1	164.5	748,809
当年度純利益	52,261,245	3.3	362.1	2,117,104	0.1	4.1	5,732,352	0.4	270.8	3,615,248

※構成比は、営業収益を100%とした比較割合

## 資料(3)

## 要素別費用比較表

(単位:円.%)

年 度 科 目		平成22年度			平成23年度			平成24年度			
		金額	構成比	対前年比	金額	構成比	対前年比	金額	構成比	対前年比	対前年差額
人件費		125,744,110	7.8	100.7	140,153,770	7.4	111.5	126,782,745	6.8	90.5	△ 13,371,025
支払利息		163,151,920	10.1	97.0	216,130,143	11.4	132.5	204,322,877	11.0	94.5	△ 11,807,266
減価償却費		606,649,211	37.6	99.5	742,786,577	39.3	122.4	745,892,442	40.3	100.4	3,105,865
動力費		50,698,391	3.1	100.1	61,905,008	3.3	122.1	65,925,344	3.6	106.5	4,020,336
修繕費		51,551,380	3.2	142.6	9,550,400	0.5	18.5	15,251,071	0.8	159.7	5,700,671
材料費		12,627,700	0.8	166.4	9,070,517	0.5	71.8	9,583,113	0.5	105.7	512,596
薬品費		0	-	-	16,000	0.0	-	0	0.0	0.0	△ 16,000
路面復旧費		0	-	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0
委託料	原水浄水費	193,008,578	11.9	110.2	207,631,755	11.0	107.6	208,231,438	11.2	100.3	599,683
	配水給水費	29,620,412	1.8	164.9	20,123,000	1.0	67.9	15,570,770	0.8	77.4	△ 4,552,230
	総係費	80,297,886	5.0	100.0	85,358,301	4.5	106.3	82,674,252	4.5	96.9	△ 2,684,049
工事請負費		167,187,879	10.4	62.1	275,646,611	14.6	164.9	243,607,810	13.2	88.4	△ 32,038,801
その他		134,607,625	8.3	87.2	123,541,981	6.5	91.8	134,412,206	7.3	108.8	10,870,225
合計		1,615,145,092	100.0	95.4	1,891,914,063	100.0	117.1	1,852,254,068	100.0	97.9	△ 39,659,995

## 資料(4)

## 比較貸借対照表

(単位:円.%)

## 資 産 の 部

科 目	平成22年度			平成23年度			平成24年度			
	金額	構成比	対前年比	金額	構成比	対前年比	金額	構成比	対前年比	対前年差額
固定資産	17,960,143,588	91.7	98.6	23,033,963,206	93.1	128.3	22,809,045,042	92.2	99.0	△ 224,918,164
有形固定資産	17,942,943,537	91.6	98.6	23,017,339,892	93.0	128.3	22,792,998,465	92.1	99.0	△ 224,341,427
土地	972,578,472	5.0	100.0	1,035,973,658	4.2	106.5	1,053,036,146	4.3	101.6	17,062,488
建物	176,400,464	0.9	95.5	210,352,768	0.9	119.2	200,681,772	0.8	95.4	△ 9,670,996
構築物	15,855,455,883	80.9	98.7	20,680,305,877	83.6	130.4	20,474,485,131	82.8	99.0	△ 205,820,746
機械及び装置	866,175,994	4.5	94.0	881,554,197	3.6	101.8	805,435,957	3.2	91.4	△ 76,118,240
車両運搬具	3,700,602	0.0	170.8	5,343,322	0.0	144.4	6,871,695	0.0	128.6	1,528,373
工具器具及び備品	1,149,810	0.0	118.9	1,435,884	0.0	124.9	1,261,758	0.0	87.9	△ 174,126
建設仮勘定	67,482,312	0.3	131.9	202,374,186	0.8	299.9	251,226,006	1.0	124.1	48,851,820
無形固定資産	17,200,051	0.1	96.8	16,623,314	0.1	96.6	16,046,577	0.1	96.5	△ 576,737
施設利用権	16,820,668	0.1	96.7	16,243,931	0.1	96.6	15,667,194	0.1	96.4	△ 576,737
電話加入権	379,383	0.0	100.0	379,383	0.0	100.0	379,383	0.0	100.0	0
流動資産	1,545,415,417	7.9	108.6	1,598,237,630	6.4	103.4	1,819,008,535	7.4	113.8	220,770,905
現金預金	1,405,409,460	7.2	131.1	1,399,458,921	5.6	99.6	1,670,152,231	6.8	119.3	270,693,310
未収金	134,048,744	0.7	54.0	192,828,176	0.8	143.8	142,927,281	0.6	74.1	△ 49,900,895
貯蔵品	2,957,213	0.0	97.0	2,950,533	0.0	99.8	2,929,023	0.0	99.3	△ 21,510
前払金	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
その他流動資産	3,000,000	0.0	3.0	3,000,000	0.0	100.0	3,000,000	0.0	100.0	0
繰延勘定 開発費	86,999,032	0.4	113.1	114,540,000	0.5	131.7	102,162,000	0.4	89.2	△ 12,378,000
資産合計	19,592,558,037	100.0	99.4	24,746,740,836	100.0	126.3	24,730,215,577	100.0	99.9	△ 16,525,259

負債・資本の部

科 目	平成22年度			平成23年度			平成24年度			
	金額	構成比	対前年比	金額	構成比	対前年比	金額	構成比	対前年比	対前年差額
負債の部										
固定負債	130,000,000	0.6	130.0	130,000,000	0.5	100.0	130,000,000	0.5	100.0	0
引当金	130,000,000	0.6	130.0	130,000,000	0.5	100.0	130,000,000	0.5	100.0	0
退職給与引当金	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
修繕引当金	130,000,000	0.6	130.0	130,000,000	0.5	100.0	130,000,000	0.5	100.0	0
流動負債	150,766,079	0.8	50.7	131,711,333	0.6	87.4	139,376,399	0.6	105.8	7,665,066
未払金	12,725,720	0.1	54.8	2,967,200	0.0	23.3	8,893,200	0.0	299.7	5,926,000
未払費用	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
前受金	772,575	0.0	42.6	461,858	0.0	59.8	705,865	0.0	152.8	244,007
下水道料金預り金	120,334,392	0.6	75.4	119,008,464	0.5	98.9	120,461,056	0.5	101.2	1,452,592
その他流動負債	16,933,392	0.1	15.0	9,273,811	0.1	54.8	9,316,278	0.1	100.5	42,467
負債合計	280,766,079	1.4	70.7	261,711,333	1.1	93.2	269,376,399	1.1	102.9	7,665,066
資本の部										
資本金	9,733,915,376	49.7	97.9	12,176,297,519	49.2	125.1	11,900,762,310	48.1	97.7	△ 275,535,209
自己資本金	3,228,291,627	16.5	100.0	3,228,291,627	13.0	100.0	3,228,291,627	13.1	100.0	0
借入資本金	6,505,623,749	33.2	96.9	8,948,005,892	36.2	137.5	8,672,470,683	35.1	96.9	△ 275,535,209
剰余金	9,577,876,582	48.9	102.2	12,308,731,984	49.7	128.5	12,560,076,868	50.8	102.0	251,344,884
資本剰余金	9,168,078,234	46.8	101.7	11,896,816,532	48.1	129.8	12,142,429,064	49.1	102.1	245,612,532
受贈財産評価額	471,234,849	2.4	100.0	485,081,849	2.0	102.9	512,611,849	2.1	105.7	27,530,000
補助金	3,159,068,217	16.1	101.1	5,524,437,217	22.3	174.9	5,559,597,217	22.5	100.6	35,160,000
寄附金	1,915,246	0.0	100.0	1,915,246	0.0	100.0	1,915,246	0.0	100.0	0
工事負担金	2,523,697,270	12.9	101.2	2,680,474,831	10.8	106.2	2,706,712,387	10.9	101.0	26,237,556
その他資本剰余金	3,012,162,652	15.4	103.2	3,204,907,389	13.0	106.4	3,361,592,365	13.6	104.9	156,684,976
利益剰余金	409,798,348	2.1	114.6	411,915,452	1.6	100.5	417,647,804	1.7	101.4	5,732,352
減債積立金	7,000,000	0.0	116.7	10,000,000	0.0	142.9	10,000,000	0.1	100.0	0
建設改良積立金	150,000,000	0.8	100.0	150,000,000	0.6	100.0	150,000,000	0.6	100.0	0
繰越利益剰余金	200,537,103	1.0	107.2	249,798,348	1.0	124.6	251,915,452	1.0	100.8	2,117,104
当年度純利益	52,261,245	0.3	362.1	2,117,104	0.0	4.1	5,732,352	0.0	270.8	3,615,248
資本合計	19,311,791,958	98.6	100.0	24,485,029,503	98.9	126.8	24,460,839,178	98.9	99.9	△ 24,190,325
負債・資本合計	19,592,558,037	100.0	99.4	24,746,740,836	100.0	126.3	24,730,215,577	100.0	99.9	△ 16,525,259



## Ⅱ 飯田市病院事業会計

## 平成 24 年度飯田市病院事業会計決算 審査意見

医業収益については、入院の延べ患者数が前年度を下回り、外来の延べ患者数はほぼ前年度並みであったが、救急患者や重篤の患者を積極的に受け入れ、高度な手術を数多く手がけたことなどにより診療単価が上昇し、入院、外来それぞれの収益の増加に結びついた。

医業費用においては、第3次整備に伴う職員の採用増と消耗備品等の購入増等が増加要因となった。

経常損益の黒字幅は縮小したが、純利益は3億703万円余となり、4期連続黒字となったものの、前年度に比べて8,735万円余減少している。

平成23年度に着工した第3次整備事業により、平成25年4月新救命救急センターが稼働し、25年度内には周産期センター、26年春には、がんに関連した治療を集約するセンターが稼働予定ということで医療体制の充実を図っているが、安定的な経営基盤の確保にも留意されたい。

現課題の一つとして医師の確保が挙げられるが、特に産科、救急等では厳しい状況にある。引き続き努力されたい。また、第3次整備事業等に伴う看護師、薬剤師等のスタッフの確保にも努められたい。

介護老人保健施設においても平成24年10月以後、入所定員100床での運用に至ったが、引き続き良好な施設運営を維持されたい。

総務省の「公立病院改革ガイドライン」に基づき、策定した「飯田市立病院改革プラン」に記載のある数値目標について、「入院患者数」において本年度は下回ったが、それ以外については平成21年度から引き続き達成しており、経営改善に対する取り組みが順調に推移してきたことがうかがわれる。平成26年度までに新しい地方公営企業会計基準への移行を求められているが、適切に対応されたい。

今後の診療報酬の改定の方向は厳しいものとなると予想されている。その中、「飯田市立病院改革プラン」を引き継ぎ平成25年度から5年間の方向を示した「飯田市立病院中期計画」に沿い、地域の中核病院として引き続きこの地域での良質な医療の提供と将来を見据えた健全な経営に努めると同時に、地域医療支援病院としても地域内の病院や診療所との連携を更に進められることを期待する。

# 平成 24 年度飯田市病院事業会計決算について

## 1 事業の概況について

### (1) 経営総括

平成 24 年度の患者数は前年度に比べ入院は 2.6%減、外来はほぼ前年度並みであったが、診療単価は入院単価が 3.6%増加、外来単価が 2.6%増加し、入院及び外来による医業収益は 1 億 3,328 万円余増加した。

医業費用は、人件費の増加のほか第 3 次整備事業に必要な消耗備品等の購入が要因となり前年度に比べ 2 億 7,646 万円余増加した。

医業外収益の一般会計繰入金については、前年度に引続き地方交付税の繰出基準に対し繰入額を減額している。

経常利益、純利益ともに 3 億 703 万円余を計上し、飯田市立病院改革プランの収支計画で目標としていた経常黒字を昨年度に引き続いて達成し、収支計画を上回っている。

平成 24 年 4 月の診療報酬改定がプラス改定 (+0.004%) となったがプラス幅はごくわずかであった。これまでの経営改善に向けた様々な取り組みや、救急や重篤な患者を積極的に受け入れたことが診療単価の伸びとなり収益の増加につながったと考えられる。

### (2) 第 3 次整備事業の推進

平成 24 年度末に救急救命センター・内視鏡室などの南棟が竣工となった。周産期センターなどの北棟及び、がん化学療法室などの既存施設の改修工事が進行している。

継続費を設定し平成 24 年度予算を翌年度に繰り越して、引き続き事業を行っていく。

### (3) 医師、看護師及び薬剤師の確保

積極的な医師の確保に努めているが、依然としていくつかの診療科については医師不足が続いている。産科については、分娩数が県内の病院で最も多い 1,177 件となっている。

また、看護師や薬剤師についても確保が難しい状況にあり、さらなる努力を続けていく。

平成 24 年度は初期臨床研修医 11 名を受け入れた。また、各医療機関にて初期臨床研修を終了し、さらに専門領域を深めるための後期臨床研修として医師 13 名が勤務した。

### (4) その他

病院改革プランの目標であった経営黒字を達成し、第 3 次整備事業の完成が見えてくる中で今後の病院の目指すべき方向について院内で議論を行い、中期計画（平成 25 年～平成 29 年）をまとめた。

開院 60 周年、新病院建設 20 周年を記念して、市民医療フォーラムを開催し、記念講演及びがん医療についてのパネルディスカッションを行った。

介護老人保健施設については、入所定員 70 床から 100 床稼働に向けて職員採用など準備を進めてきた結果、平成 24 年 10 月から 100 床での運用を開始することができた。

## 2 業務の状況について

入院・外来等の実績 患者数等の推移は次表のとおりである。

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	前年度比
外来患者数	239,903 人	237,777 人	237,796 人	100.0%
1 日平均外来患者数	988 人	975 人	971 人	99.6%
入院患者数	125,147 人	122,445 人	119,209 人	97.4%
1 日平均入院患者数	343 人	335 人	327 人	97.6%
平均在院日数	12.9 日	12.0 日	11.6 日	-
病床利用率（決算統計から）	90.8%	89.1%	87.2%	△1.9P
救急車搬送人数（時間内）	1,128 人	1,204 人	1,094 人	△110 人
救急車搬送人数（時間外）	1,827 人	1,917 人	2,052 人	135 人
へり搬送人数（搬入）	46 人	48 人	66 人	18 人
へり搬送人数（搬出）	6 人	8 人	13 人	5 人
分娩件数	1,051 件	1,196 件	1,177 件	△19 件

・外来患者数に高松診療所及びドックを含む。

・病床利用率は、年延べ入院患者数（入院患者数＋退院患者数）を年延べ病床数（病床数×365日）で除して得たものである。なお、病床数は、407床（一般403床、感染症病床4床）である。

飯田市立病院改革プランの医療機能に関わる数値目標である入院患者数の目標値（122,200人）に対し、今年度は2,991人少なく97.6%の達成率となっている。

外来は前年とほぼ同率、入院患者数は前年度比で減少した。また病床利用率も減少している。

へり搬送人数は増加している。

救急車搬送総人数は3,146人であり、そのうち時間外は2,052人と約3分の2を占めている。

## 3 予算の執行状況について

平成24年度予算の執行状況は次表のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出決算（消費税及び地方消費税を含む。）

収益的収入

(単位：円)

科目	予 算		決 算		予算額に比べ決算額の増減 (B) - (A)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比		
病院事業収益	11,816,800,000	100.0%	11,840,415,487	100.0%	23,615,487	100.2%
医業収益	10,934,000,000	92.5%	11,074,624,377	93.5%	140,624,377	101.3%
医業外収益	882,800,000	7.5%	765,791,110	6.5%	△117,008,890	86.7%

収益的支出

(単位：円)

科目	予 算		決 算		不用額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比		
病院事業費用	11,801,000,000	100.0%	11,469,595,198	100.0%	331,404,802	97.2%
医業費用	11,432,400,000	96.9%	11,121,646,876	97.0%	310,753,124	97.3%
医業外費用	368,600,000	3.1%	347,948,322	3.0%	20,651,678	94.4%

事業収益は予算に対して2,361万円余の増、事業費用は医業費用・医業外費用とも減となり、予算に対して3億3,140万円余の不用額を生じている。

## (2) 資本的収入及び支出決算（消費税及び地方消費税を含む。）

## 資本的収入

(単位：円)

区分 科目	予 算		決 算		増減額 (B) - (A)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比		
資本的収入	3,764,859,000	100.0%	3,101,804,465	100.0%	△663,054,535	82.4%
企業債	1,987,800,000	52.8%	1,551,200,000	50.0%	△436,600,000	78.0%
負担金	409,092,000	10.9%	470,095,000	15.1%	61,003,000	114.9%
国庫補助金	19,700,000	0.5%	17,094,000	0.6%	△2,606,000	86.8%
県補助金	396,900,000	10.6%	340,623,000	11.0%	△56,277,000	85.8%
出資金	938,400,000	24.9%	707,800,000	22.8%	△230,600,000	75.4%
固定資産売却代金	467,000	0.0%	467,540	0.0%	540	100.1%
寄附金	12,500,000	0.3%	14,524,925	0.5%	2,024,925	116.2%

## 資本的支出

(単位：円)

区分 科目	予 算		決 算		翌年度 繰越額(C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A)
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比			
資本的支出	4,844,994,000	100.0%	4,097,615,539	100.0%	614,725,000	132,653,461	84.6%
建設改良費	3,400,600,000	70.2%	2,663,172,398	65.0%	614,725,000	122,702,602	78.3%
企業債償還金	1,410,294,000	29.1%	1,410,293,141	34.4%	0	859	100.0%
開発費	34,100,000	0.7%	24,150,000	0.6%	0	9,950,000	70.8%

当年度の資本的収入は31億180万円余であり、予算に対して6億6,305万円余の減、資本的支出は40億9,761万円余となり、6億1,472万円余を翌年度へ繰越し、予算に対して1億3,265万円余の不用額を生じている。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額9億9,581万円余は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額351万円余及び過年度分損益勘定留保資金9億9,229万円余で補てんされている。

## 4 経営成績について

## (1) 経営の実績

事業収益等の推移は次表のとおりである。

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年度比較
事業収益（千円）	11,547,153	11,687,550	11,823,098	101.2%
医業収益	10,776,277	10,947,374	11,058,572	101.0%
うち入院収益	7,547,242	7,607,979	7,672,367	100.8%
うち外来収益	2,569,626	2,643,333	2,712,226	102.6%
その他医業収益	659,409	696,062	673,979	96.8%
医業外収益	770,876	740,176	764,526	103.3%
事業費用（千円）	11,041,097	11,293,159	11,516,062	102.0%
うち医業費用	10,471,101	10,716,195	10,992,663	102.6%
うち医業外費用	569,996	576,964	523,399	90.7%
医業損益（千円）	305,176	231,179	65,909	△165,270
経常損益（千円）	506,056	394,391	307,036	△87,355
特別損失（千円）	119,550	0	0	0
純損益（千円）	386,506	394,391	307,036	△87,355

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	前年度比較
資金の 収支状況	単年度（千円）	947,778	851,130	319,666	△531,464
	出資金（千円）	15,000	0	707,800	707,800
	累積(流動資産-流動負債)(千円)	4,299,865	5,150,995	5,470,661	319,666
診療 単価	入院単価（円）	60,307	62,134	64,361	103.6%
	外来単価（円）	10,817	11,227	11,519	102.6%
一般会計繰入金（千円）		1,242,898	1,301,101	1,342,000	40,899

事業収益は、118 億 2,309 万円余、事業費用は 115 億 1,606 万円余で、純利益は 3 億 703 万円余となり、4 年連続の黒字であった。

医業収益は 110 億 5,857 万円余、医業費用は 109 億 9,266 万円余で、医業利益は 6,590 万円余である。

医業外収益の主なものは一般会計からの繰入金である。

医業外費用の主なものは繰延勘定償却及び支払利息及び企業債取扱諸費である。

入院単価・外来単価それぞれ前年度に比べて 2,227 円、292 円増加している。

## (2) 経営効率

経営効率化にかかる数値の推移及び数値の全国比較（400 床以上 500 床未満）の状況は次表のとおりである。(単位：%)

区 分	飯田市立病院			全国平均 (23 年度)		備 考
	22 年度	23 年度	24 年度	同規模	同規模 黒字	
経常収支比率	104.6	103.5	102.7	101.2	103.9	(医業収益+医業外収益) ÷ (医業費用+医業外費用)
医業収支比率	102.9	102.2	100.6	95.6	98.4	医業収益 ÷ 医業費用
職員給与費対医業収益比率	51.5	52.9	53.8	51.9	50.5	職員給与費 ÷ 医業収益
材料費対医業収益比率	21.6	21.9	21.7	24.1	24.0	医療材料費 ÷ 医業収益
うち薬品費対医業収益比率	9.0	9.3	10.2	12.3	12.3	薬品費 ÷ 医業収益
病床利用率	90.8	89.1	87.2	76.6	80.0	年延入院患者数 ÷ 年延総病床数

・市立病院の数値は、全国平均と比較するために決算統計上の数値で算出されている。

・全国平均は、「平成 23 年度地方公営企業決算状況調査」に基づく数値であり、同規模とは 400 床以上 500 床未満の病院の平均値、同規模黒字は同規模の病院のうち黒字病院の平均値である。

飯田市立病院改革プランにおける目標達成状況については、以下のとおりである。

- ・経常収支比率は、100%を平成 23 年度までに達成すること、病床利用率は 87%以上確保を目標としているが、平成 21 年度から継続して達成している。
- ・目標とする医業収支比率 97%以上、職員給与費対医業収支比率 55%以下は、平成 20 年度から継続して達成している。

## 5 財政状態について

### (1) 資産、負債及び資本

資産、負債及び資本の推移は次表のとおりである。(単位：円)

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	金 額	金 額	金 額	対前年度増減率
固定資産	13,544,483,638	13,584,054,341	15,319,021,902	12.8%
流動資産	4,953,124,368	6,082,400,088	7,436,502,193	22.3%
繰延勘定	717,616,887	577,880,620	547,327,278	△5.3%
資産合計	19,215,224,893	20,244,335,049	23,302,851,373	15.1%
固定負債	572,000,000	680,000,000	706,000,000	3.8%
流動負債	653,259,041	931,404,590	1,965,840,897	111.1%
自己資本金	1,703,424,483	1,703,424,483	2,411,224,483	41.6%
借入資本金	11,136,418,416	10,849,078,735	10,989,985,594	1.3%
資本剰余金	6,626,929,531	7,162,842,531	8,005,179,456	11.8%
利益剰余金	△1,476,806,578	△1,082,415,290	△775,379,057	△28.4%
負債・資本合計	19,215,224,893	20,244,335,049	23,302,851,373	15.1%

### (2) 企業債

企業債残高の推移は次表のとおりである。(単位：円)

区 分	前年度末残高	借入額	償還額	当年度末残高	増減率
平成 20 年度	10,455,166,423	1,642,400,000	2,090,357,490	10,007,208,933	△4.3%
平成 21 年度	10,007,208,933	4,394,300,000	4,532,057,621	9,869,451,312	△1.4%
平成 22 年度	9,869,451,312	745,100,000	1,081,352,896	9,533,198,416	△3.4%
平成 23 年度	9,533,198,416	807,900,000	1,095,239,681	9,245,858,735	△3.0%
平成 24 年度	9,245,858,735	1,551,200,000	1,410,293,141	9,386,765,594	1.5%

平成 20 年度の借入額には借換債 10 億 6,580 万円を含み、償還額には繰上償還分 10 億 6,588 万円余を含んでいる。

平成 21 年度の借入額には借換債 33 億 9,420 万円を含み、償還額には繰上償還分 34 億 2,187 万円余を含んでいる。

### (3) 未収金

一部負担金の未収金の推移の状況は次表のとおりである。(単位：円)

区 分	前年度末 未収金額(A)	当年度増減額			当年度末未収金額	
		更正減額(B)	未収金額(C)	収入済額(D)	(A-B+C-D)	合計
20 年度	入院	74,040,622	4,173,458	57,708,861	46,367,343	101,078,562
	外来	20,315,595	1,047,059	13,226,405	12,625,061	
21 年度	入院	81,208,682	3,423,545	63,680,258	63,755,652	107,605,969
	外来	19,869,880	1,050,457	15,917,262	19,110,603	
22 年度	入院	85,322,152	4,380,273	46,062,179	63,509,008	96,270,513
	外来	22,283,817	638,711	26,088,287	14,957,930	
23 年度	入院	63,495,050	3,463,250	56,529,098	44,584,521	101,174,894
	外来	32,775,463	1,584,420	26,208,326	28,200,852	
24 年度	入院	71,976,377	1,103,522	64,656,974	53,960,136	109,225,834
	外来	29,198,517	416,983	25,372,424	26,497,817	

## 比較損益計算書

(単位:円、%)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	対前年度増減率		
				22年度	23年度	24年度
医業収益	10,776,277,479	10,947,373,638	11,058,571,660	7.6	1.6	1.0
入院収益	7,547,242,465	7,607,979,398	7,672,366,522	8.3	0.8	0.8
外来収益	2,569,625,563	2,643,332,793	2,712,225,708	7.7	2.9	2.6
その他医業収益	659,409,451	696,061,447	673,979,430	0.4	5.6	△ 3.2
医業費用	10,471,101,242	10,716,195,086	10,992,662,615	7.1	2.3	2.6
給与費	5,853,440,634	6,084,828,154	6,289,106,158	7.4	4.0	3.4
材料費	2,405,627,336	2,478,048,002	2,484,488,972	4.3	3.0	0.3
経費	1,394,287,945	1,305,602,245	1,368,358,032	9.6	△ 6.4	4.8
減価償却費	738,376,887	770,277,358	768,316,920	6.9	4.3	△ 0.3
資産減耗費	34,995,009	32,189,208	34,883,133	70.8	△ 8.0	8.4
研究研修費	44,373,431	45,250,119	47,509,400	29.2	2.0	5.0
医業損益	305,176,237	231,178,552	65,909,045	28.1	△ 24.2	△ 71.5
医業外収益	770,875,746	740,176,318	764,525,897	△ 9.1	△ 4.0	3.3
受取利息配当金	5,768,429	3,328,026	2,992,603	3.6	△ 42.3	△ 10.1
他会計負担金	440,814,000	370,552,000	407,811,000	△ 23.8	△ 15.9	10.1
財産収入	7,594,940	7,644,585	7,708,684	△ 0.6	0.7	0.8
他会計補助金	198,627,000	245,582,000	241,657,000	18.0	23.6	△ 1.6
国庫補助金	25,127,750	21,368,000	16,761,000	△ 2.5	△ 15.0	△ 21.6
県補助金	35,661,000	43,826,000	47,829,000	51.0	22.9	9.1
その他医業外収益	57,282,627	47,875,707	39,766,610	50.3	△ 16.4	△ 16.9
医業外費用	569,995,877	576,963,582	523,398,709	△ 24.1	1.2	△ 9.3
支払利息企業債取扱諸費	155,819,653	143,853,603	132,296,692	△ 53.0	△ 7.7	△ 8.0
繰延勘定償却	210,615,733	219,944,292	177,989,034	△ 6.5	4.4	△ 19.1
患者外給食材料費	1,275,916	190,710	0	12.7	△ 85.1	皆減
院内保育所費	20,599,603	26,206,789	26,226,413	4.3	27.2	0.1
雑損失	181,684,972	186,768,188	186,886,570	5.0	2.8	0.1
経常利益	506,056,106	394,391,288	307,036,233	50.9	△ 22.1	△ 22.1
特別利益	0	0	0	-	-	-
固定資産売却益	0	0	0	-	-	-
過年度損益修正益	0	0	0	-	-	-
その他特別利益	0	0	0	-	-	-
特別損失	119,550,452	0	0	皆増	皆減	-
固定資産売却損	0	0	0	-	-	-
過年度損益修正損	0	0	0	-	-	-
高松分院固定資産除却損	119,550,452	0	0	皆増	皆減	-
当年度純損益	386,505,654	394,391,288	307,036,233	15.3	2.0	△ 22.1
前年度繰越欠損金	1,863,312,232	1,476,806,578	1,082,415,290	△ 15.2	△ 20.7	△ 26.7
当年度未処理欠損金	1,476,806,578	1,082,415,290	775,379,057	△ 20.7	△ 26.7	△ 28.4

## 資料（２）

## 比較貸借対照表

(単位:円、%)

項目	年度比較			対前年度増減率		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	22年度	23年度	24年度
資産の部	19,215,224,893	20,244,335,049	23,302,851,373	4.3	5.4	15.1
1固定資産	13,544,483,638	13,584,054,341	15,319,021,902	△ 1.9	0.3	12.8
(1)有形固定資産	13,542,727,554	13,582,298,257	15,317,265,818	△ 1.8	0.3	12.8
イ土地	4,475,650,007	4,475,650,007	4,475,182,467	0.7	0.0	0.0
ロ建物及び付属設備	7,241,126,806	7,044,284,910	6,831,566,104	△ 4.8	△ 2.7	△ 3.0
ハ構築物	82,286,203	69,241,529	59,169,671	△ 11.9	△ 15.9	△ 14.5
ニ医療機械器具及び備品	1,619,218,857	1,786,692,339	1,987,214,342	2.6	10.3	11.2
ホ一般器具及び備品	93,790,404	100,814,853	142,858,052	44.4	7.5	41.7
ヘ車両及び運搬具	10,405,277	9,824,619	25,909,673	16.4	△ 5.6	163.7
ト建設仮勘定	20,250,000	95,790,000	1,795,365,509	皆増	373.0	1,774.3
(2)無形固定資産	1,756,084	1,756,084	1,756,084	△ 30.0	0.0	0.0
イ電話加入権	1,756,084	1,756,084	1,756,084	△ 9.2	0.0	0.0
ロ地上権	0	0	0	皆減	-	-
(3)投資	0	0	0	-	-	-
イ長期貸付金	0	0	0	-	-	-
ロその他投資	0	0	0	-	-	-
2流動資産	4,953,124,368	6,082,400,088	7,436,502,193	24.8	22.8	22.3
(1)現金預金	3,057,001,388	4,050,837,247	5,128,961,828	38.9	32.5	26.6
(2)未収金	1,858,425,068	1,997,901,558	2,251,149,107	7.2	7.5	12.7
(3)貯蔵品	37,697,912	33,661,283	56,391,258	11.5	△ 10.7	67.5
(4)貸付金	0	0	0	-	-	-
(5)その他流動資産	0	0	0	-	-	-
3繰延勘定	717,616,887	577,880,620	547,327,278	8.4	△ 19.5	△ 5.3
(1)開発費	298,412,918	261,532,992	211,312,066	190.3	△ 12.4	△ 19.2
(2)退職給与金	195,816,818	95,715,880	31,310,927	△ 41.1	△ 51.1	△ 67.3
(3)控除対象外消費税	223,387,151	220,631,748	304,704,285	△ 1.6	△ 1.2	38.1

(単位:円、%)

項目	年度比較	平成22年度	平成23年度	平成24年度	対前年度増減率		
					22年度	23年度	24年度
負債の部		1,225,259,041	1,611,404,590	2,671,840,897	37.5	31.5	65.8
4固定負債		572,000,000	680,000,000	706,000,000	108.8	18.9	3.8
(1) 他会計借入金		0	0	0	-	-	-
イ 他会計借入金		0	0	0	-	-	-
(2) 引当金		572,000,000	680,000,000	706,000,000	108.8	18.9	3.8
イ 修繕引当金		137,000,000	137,000,000	163,000,000	270.3	0.0	19.0
ロ 退職給与引当金		435,000,000	543,000,000	543,000,000	83.5	24.8	0.0
5流動負債		653,259,041	931,404,590	1,965,840,897	5.9	42.6	111.1
(1) 一時借入金		0	0	0	-	-	-
(2) 未払金		636,096,558	927,955,877	1,962,423,030	5.9	45.9	111.5
(3) その他流動負債		17,162,483	3,448,713	3,417,867	4.1	△ 79.9	△ 0.9
資本の部		17,989,965,852	18,632,930,459	20,631,010,476	2.6	3.6	10.7
6資本金		12,839,842,899	12,552,503,218	13,401,210,077	△ 2.4	△ 2.2	6.8
(1) 自己資本金		1,703,424,483	1,703,424,483	2,411,224,483	0.9	0.0	41.6
(2) 借入資本金		11,136,418,416	10,849,078,735	10,989,985,594	△ 2.9	△ 2.6	1.3
イ 他会計借入金		1,603,220,000	1,603,220,000	1,603,220,000	0.0	0.0	0.0
ロ 企業債		9,533,198,416	9,245,858,735	9,386,765,594	△ 3.4	△ 3.0	1.5
ハ 特定資金公共投資事業債		0	0	0	-	-	-
7剰余金		5,150,122,953	6,080,427,241	7,229,800,399	17.6	18.1	18.9
(1) 資本剰余金		6,626,929,531	7,162,842,531	8,005,179,456	6.2	8.1	11.8
イ 受贈財産評価額		33,536,550	33,536,550	33,536,550	0.0	0.0	0.0
ロ 寄付金		27,357,718	27,357,718	41,882,643	3.8	0.0	53.1
ハ 補助金		922,196,300	1,011,927,300	1,369,644,300	0.9	9.7	35.4
ニ その他資本剰余金		5,643,838,963	6,090,020,963	6,560,115,963	7.1	7.9	7.7
(2) 欠損金		1,476,806,578	1,082,415,290	775,379,057	△ 20.7	△ 26.7	△ 28.4
イ 当年度未処理欠損金		1,476,806,578	1,082,415,290	775,379,057	△ 20.7	△ 26.7	△ 28.4
負債・資本合計		19,215,224,893	20,244,335,049	23,302,851,373	4.3	5.4	15.1